

■ 前回の改善計画の進捗評価 及び 今回改善計画（案）

項目	実施した具体的な取組	進捗評価	改善計画（案）
		運営推進会議における意見等	
<p>I. 事業運営の評価 （評価項目 1～10）</p>	<p>1 理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動指針の策定、周知 ・歩行訓練、生活機能維持の取組み <p>3,4 人材育成・①研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の中長期的な育成計画の策定が不十分 ・面接などの実践をしたいができていない。 	<p><1 理念></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療ニーズの高い利用者や看取りの支援に対してもう少し具体的な状況取組み内容があるとさらによいのではないかと。また、社会貢献についてももっと具体的なことが記述してあればと思われる <p><3,4 人材育成・①研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員と面談をし希望や考えを確認していくことも大切ではないかと。多忙かと思うが実施していただきたい。 ・スタッフの能力向上にはバラツキが出る。それらを補う目的から介護・医療等の関連雑誌や書籍が閲覧できる場や機会を設けてはどうか。 ・外部の研修も必要ではないかと。 	<p>●自分らしく生きていくためにどうするか？現在の「その人らしく生きる」理念を掘り下げて、看多機における療養生活であっても「自分の生き方」を実現するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> 「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」 「②在宅での看取りの支援」 「③生活機能の維持回復」 「④家族の負担軽減」 「⑤地域包括ケアへの貢献」 <p>を含む、看多機のぞみ独自の理念等を来年度に向けて明確化する。</p> <p>●職員の中長期的な育成計画を作成し、周知する。</p> <p>●職員と年2回の定期的な面談を実施する。</p> <p>●介護関係の雑誌も多くそろっているので、職員が自由に閲覧できるように本棚を設置する。</p>

	<p>5 人材育成・②介護看護連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共有ノート、ラインワークスの活用をしている。 ・定期カンファが少なくフィードバックがない。 <p>6 組織体制・①運営推進会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議のフィードバックができていない。 <p>7 組織体制・②就業環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人員の不足 ・風通しの良い環境を求める。 <p>8 情報提供共有基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共有ノートや個人ファイルを活用している。タイムリーに更新できていないことがある。 <p>9 安全管理・①事故</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報や防犯は現状で満足できる水準ではない。 	<p><5 人材育成・②介護看護連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有は事故を未然に防ぐためにも必要。 <p><6 組織体制・①運営推進会議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員向け HP で閲覧できるようにしてはどうか。共通の情報についてもいつでもどこでも、関わる誰もが利用できるようにする。 ・紙ベースでもよいので全員に周知する努力が必要。 ・毎回中身の濃い話し合いなので「報告書」形式ではなく 10 ポイント（要点）などで情報共有も良いのかと思います。 <p><7 組織体制・②就業環境整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有の必要を感じます。 <p><8 情報提供共有基盤整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・早急な改善をお願いしたい。 <p><9 安全管理・①事故></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こんな時どうする」5W1H でダイジェスト版をスタッフ HP で表示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議の内容を会議にて周知し、いつでも閲覧できるファイルを作成するほか、会議録画を活用して職員全員で共有できる体制作りを行う。 ●会議内容を要約したトピックスを、日誌に盛り込んで周知していく。
--	--	--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・写真の活用について、無頓着なところが見受けられる。 <p>10 安全管理・②災害等緊急時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フローチャートがあるが、より具体的にすると良い。 ・停電時の電源確保が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時にマニュアル化も必要。 ・利用者からのぞみへのフローはとても満足しています。利用者及び職員の安全確保のためのマニュアルやフローが確立されればと思います。 <p><10 安全管理・②災害等緊急時></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議出席者に開示してほしい。「利用参加者を多くするために」 ・時間をかえながら対応をみていく必要もあるのではないか。 ・日吉はよく停電等あるように記憶していますが対策等あるのでしょうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害などの緊急時でのサービス提供について、地域の方と連携を取りながら体制作りを行う。 ●地域の方を交えての避難訓練の開催。開催後のフィードバックを運営推進会議で行い意見を伺う。 ●非常電源の確保のため、発電機の購入について検討する。
<p>II. サービス提供等の評価</p> <p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）</p>	<p>11, 12 介護・看護両面からのアセスメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「通い」だけの利用者の夜間有事対応について不明点があり、明確にする必要がある。 <p>13 家族を含む利用者の考えを把握した計画作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族と本人の将来像が合致せず混乱しているケースがある。 	<p><11, 12 介護・看護両面からのアセスメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「できていない」というスタッフの意見から改善できることはないか考えてもよいのではないか。 <p><13 家族を含む利用者の考えを把握した計画作成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「できていない」というスタッフの意見が大切 	<ul style="list-style-type: none"> ●自宅での生活状況を明確にし、支援内容が充分であるか職員全員で検討できるように、個々の理解を高める。

		<p>14 利用者の有する能力を最大限に生かした計画作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人的に計画されているが、日常での計画にそっての実践ができていない。期日を決めて個人的な計画作成が必要。 ・職員不足でやれないこともある <p>19 介護・看護それぞれの専門性を生かしたサービス提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療依存度の高い利用者に対して、看護、介護それぞれが日々役割分担を明確化している。 ・朝夕伝達の間を活用し又、気になったことはその毎声かけし合っている。 ・看護師から常に適切な指示や提案があると感じている。 	<p><14 利用者の有する能力を最大限に生かした計画作成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各職種での問題点を拾い上げる部署を設置してほしい。 <p><19 介護・看護それぞれの専門性を生かしたサービス提供></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護の棲み分けを知りできないことを明示し、知識としての情報として発信してほしい。 ・生活の質を上げるための努力とは、具体的にどのようなことをしているのか。 <p><25 利用者本人の希望や意向の反映></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不安軽減にもご配慮ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●看護師は担当制を設けているので、介護側も担当を設定し、より深く利用者の生活状況の把握に努め、専門性を活かし、ケアマネと看護師との情報交換を密にしてケアプランに反映する。 ●生活の質を上げるために、本人が「やり遂げた」「満足した」など成功体験を感じることができるよう計画を作成する。 ●緊急時の対応方針について、利用者全員の最新情報を把握し、実行できるように計画する。
--	--	---	---	--

<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28 ～ 31)</p>	<p>31 運営推進会議等における地域への情報提供や提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での地域密着型サービスのあり方について運営推進会議にて助言を頂くも、イベントなどの開催は控え、皆で検討が必要とした。 	<p><31 運営推進会議等における地域への情報提供や提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・徐々に緩和されてるので状況に合わせていただければよいのでは。 ・利用者だけのイベントの様子等もう少し HP にアップされると嬉しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議において、利用者のために必要な介護保険外のサービスやインフォーマルサポートを含めたケアの提供を検討する。 ●インスタグラム等での情報発信を行う。
<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32 ～ 41)</p>	<p>32 運営推進会議記録の閲覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社ホームページにて閲覧可能に出来るように検討中。 ・記録が事務所内にあり、閲覧できる状況ではない。 <p>33 サービスの概要等についての地域への啓蒙活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス内容や具体例などが、弊社ホームページ内に掲載されている。 <p>36 人工呼吸器の利用者の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け入れた実績なし ・利用状況によっては検討したい 	<p><32 運営推進会議記録の閲覧></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご検討ください。 ・個人情報に関わることもあるので全てではなくとも、新しい取組み等 HP で見れると良いと思います。また感染症等出た際の情報、対策等もわかった方が安心と思います。 <p><33 サービスの概要等についての地域への啓蒙活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外から見られていると常に感じていただければと思います。 ・HP がもう少し更新されるか写真等あれば分かりやすいです。 <p><36 人工呼吸器の利用者の受入れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強会等行い、万が一希望があった時に対応できるようにしていただければと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議の議事録をホームページにて閲覧できるようにする。 ●掲示板を設置し、活動内容を近隣住民の方へ周知する。 ●人工呼吸器の利用者の受け入れに関しては、勉強会を行い体制を整える。

	<p>40 地域関係者への課題提起・改善策の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議への参加、高齢者支援ネットワーク、認知症患者医療連携協議会などの参加において、地域の方々へ看護小規模多機能型居宅介護についての説明などを行っている。 <p>41 家族や地域住民への介護力向上の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲示板や会報誌など、発信の取組みは考えられるが、実施に至っていない。 	<p><40 地域関係者への課題提起・改善策の提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有をお願いします。 ・リハビリ病院から紹介頂いたが、周囲の病院かホームで、看多機を知っている人は少ない。 <p><41 家族や地域住民への介護力向上の取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎の際や電話でのアドバイスは沢山頂いております。HPが充実するとまだ看多機を知らない方などは興味をもつと思います。 	
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居しなくてもサービス時間の調整や、一体的な支援をすることで在宅生活を可能にしている。 ・状態の変化に合わせて療養場所を変更することが出来る。 ・看護師が訪問出来ることで非常に多くの安心感が得られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・とても良くサポートされていると思います。 ・看護師との連携もスムーズでとても心強い。 	<p>●医療依存度の高い利用者のニーズに合わせるため、介護職員の喀痰吸引研修受講を進めるなどレベルアップに努める。</p>